

	メイン会場(多目的ホール)	一般演題会場(エントランスホール)	中継会場(3F講義室8・9)
		8:30-	
		総合受付	
9時	9:00-9:10 開会式		9:00-9:10
	9:10-9:25 集会長講演「福島県における高齢者の健康に資する課題」 集会長: 柴 喜崇 (福島県立医科大学) 司会: 遠藤康裕 (福島県立医科大学)		
	9:30-10:30 シンポジウム①「循環器に対する予防理学療法の可能性」 1.「生活習慣病からの循環器病予防における理学療法の可能性～総論～」 シンポジスト: 齊藤正和 (順天堂大学) 2.「医療機関としての循環器病予防対策の実際と課題～3次予防～」 シンポジスト: 菅本雄一朗 (太田西ノ内病院) 3.「特定検診・特定保健指導における取り組みの実際と課題～2次予防～」 シンポジスト: 岡崎可奈子 (福島県立医科大学) 4.「モバイルヘルスを活用した生活習慣病予防の実際と課題～1次予防～」 シンポジスト: 三木貴弘 ((株)PREVENT) 座長: 解良武士 (高崎健康福祉大学)・佐藤聡見 (福島県立医科大学)		
10時		ポスター掲示	メイン会場の中継
	10:35-11:15 シンポジウム①「循環器に対する予防理学療法の可能性」 総合討論(リアルタイムアンケート、課題解決型ディスカッション) 登壇者: 福島県保健福祉部地域医療課担当者 齊藤正和 (順天堂大学)、菅本雄一朗 (太田西ノ内病院) 岡崎可奈子 (福島県立医科大学)、三木貴弘 ((株)PREVENT) 司会者: 舟見敬成 (福島県理学療法士会会長)		
11時		11:20-12:00 ポスターセッション 一般発表 P1-1～P1-5 ファシリテーター: 白谷智子 (苑田第二病院) P2-1～P2-5 ファシリテーター: 藤田博暁 (帝京科学大学) P3-1～P3-5 ファシリテーター: 廣瀬恵一 (九州栄養福祉大学) P4-1～P4-6 ファシリテーター: 齊藤孝義 (国際医療福祉大学)	
12時	12:05-12:45 ランチョンセミナー 「生活を変える運動支援:『リカバル』の利点と実践法」 演者: 内藤純一 (名古屋女子大学) 司会: 佐藤聡見 (福島県立医科大学) 共催: 株式会社 サプリム		12:05-12:45 メイン会場の中継
		12:50-13:40 ポスターセッション セレクション発表 SP-1～SP-5 座長: 笹野弘美 (奈良学園大学)	
13時			
	13:45-14:25 企業協賛セミナー 「AIを用いた歩行動画による歩行機能評価の実践」 演者: 遠藤康裕 (福島県立医科大学) 司会: 嶋原智彦 (福島県立医科大学附属病院) 協賛: アステラス製薬株式会社		13:45-17:35 メイン会場の中継
14時			
	14:35-15:35 シンポジウム②「災害に対する予防理学療法の可能性」 1.「東日本大震災後および東京電力福島第一原子力発電所事故被災地における地域医療の課題」 シンポジスト: 小野田修一 (南相馬市立総合病院) 2.「東日本大震災後の被災者における生活環境およびその生活習慣への影響」 シンポジスト: 森山信彰 (福島県立医科大学) 3.「被災自治体の高齢者の二次的健康影響」 シンポジスト: 玉根幸恵 (相双保健福祉事務所いわき支部) 4.「被害軽減のための平時からの備え(ソーシャル・キャピタルと防災)」 シンポジスト: 野口泰司 (国立長寿医療研究センター) 座長: 西川正一郎 (タック株式会社)・池田登顕 (山形大学)		
15時		ポスター撤去	メイン会場の中継
	15:40-16:20 シンポジウム②「災害に対する予防理学療法の可能性」 総合討論(リアルタイムアンケート、課題解決型ディスカッション) 登壇者: 金尾由美子 (福島県保健福祉部感染症対策課) 小野田修一 (南相馬市立総合病院)、森山信彰 (福島県立医科大学) 玉根 幸恵 (相双保健福祉事務所いわき支部) 野口 泰司 (国立長寿医療研究センター) 司会者: 西川正一郎 (タック株式会社)・池田登顕 (山形大学)		
16時			
	16:30-17:15 教育講演「災害後の循環器病リスクに対する予防医学の貢献」 講師: 大平哲也 (福島県立医科大学医学部疫学講座) 司会: 大淵修一 (東京都健康長寿医療センター研究所)		
17時			
	17:25-17:35 表彰式、閉会式		